

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1442 号	氏名	Nundu Sabiti Sabin
学位審査委員	主 査 森田 公一 副 査 皆川 昇 副 査 南保 明日香		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>マラリアの制圧は熱帯医学領域におけるもっと大きな感染症問題の一つである。本研究は、コンゴ共和国において実施されているマラリアコントロール対策の問題点を明らかにして同国および同様の問題に苦しむアフリカ諸国におけるマラリア対策の改善に資する研究であり研究目的は妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>これまで同国では主たる調査対象となっていなかった学童層に焦点をあて、都市部と辺縁地域とにおいてマラリア罹患率を顕微鏡検査、迅速診断キット、PCR という 3 つの異なる手法で解析し陽性率を統計的に比較解析した手法は妥当である。さらにキンシャサにおける薬剤耐性マラリアの流行状況もあわせて調査した。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、同国におけるマラリア対策には学童層のマラリア調査の強化が重要な要素であること、PCR 法がもっとも感度の高い診断法であること、クロロキン耐性のマラリアがキンシャサにおいて減少していることなど重要な疫学的知見が得られコンゴと周辺地域において効果的なマラリア対策を立案、改善するうえで重要な知見が得られた。</p> <p>以上のように本論文は熱帯地域のマラリア対策に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			